

ほんべつ



いいひと いいまち いきいき ほんべつ

2
平和への誓い

新たに

語りつぐ

本別空襲の日の7月15日を中心に
戦没者・戦災死没者追悼式や語り継ぐ活動が行われました

4
ほんべつ寄席

スターフェスティバル

国民年金コーナー

6
新型インフルエンザ

知っておこう

8
「相田みつを展」

心に響く書との出会う

10
第六次本別町総合計画

Part3

17
定額給付金申請

忘れていませんか？

- 11 ハロー仙美里小学校……………
- 12 マイタウン……………
- 15 みんなの健康・銀河ホットライン……………
- 16 ご寄付ありがとうございます……………
- 18 本のある暮らし・わたしたちのまち……………



高校生の熱気で雨も止みました

本高祭2日目の役場前での仮装パフォーマンス。生徒たちの気持ちが届いたのか、パフォーマンスの間だけ雨が上がりました。自らが考えた振り付け、衣装を身にまとい、素晴らし踊りを披露しました

わが町の七月十五日展

資料館
特別展

特攻隊員と鳥浜トメの生涯

オープニングセレモニー



展示会初日の7月1日、関係者約30人が出席し、オープニングセレモニーが開催されました。

高橋正夫町長が「歴史の中で、本別町は7月15日に空爆を受け、そこから立ち上がってきた。この歴史を絶対忘れてはいけない。そしてその悲劇を後世に伝え、子供たちを含めて、頭の中、胸の中にとどめてほしい」とあいさつ。続いて図書館ボランティアぶっくる（綾野治男代表）5人により、特攻隊員の遺書や家族にあてた手紙、遺詠を朗読しました。



二度と生きては帰ってこれないという知らぬがら出撃する隊員。そのほとんどが十七歳から二十二歳の若者でした。この特別展は、笑顔で出撃する隊員たちとそれを知った家族は何を想っていたのか、また多くの若者たちの出撃を見送った、陸軍指定「富屋食堂」女主人鳥浜トメの、辛く悲しい体験を後世に伝えるものでした。戦争の悲劇を訴えたこの特別展を通して、私たちは二度と戦争を起さずにはいけないことを改めて確認し、次の世代へと語りついでいかなければなりません。

本別空襲のあった昭和二十年七月十五日の悲惨な出来事を、後世に語りつぐための「わが町の七月十五日展」が、七月一日から三十一日まで歴史民俗資料館で開催され、本別空襲の被災状況などの写真を紹介し、二度と戦争を繰り返してはいけないことを伝えました。今年、鹿児島県南九州市の「知覧特攻平和会館」と「ホテル館（特攻の母鳥浜トメ資料館）」の協力を得て、太平洋戦争末期の沖縄大戦で、飛行機が搭乗員もろとも敵艦に体当たりした陸軍特別攻撃隊の隊員と、それを支えた鳥浜トメの生涯を、隊員の遺影や遺書、家族にあてた手紙などの貴重な資料を展示し、本別町はもとより世界の平和への願いを訴えました。

語り部

「これからの日本を支えてほしい」

十四歳で本別空襲を体験した細岡幸男（七十八歳）さんが七月十日、総合学習の授業で歴史民俗資料館を訪れた仙美里小学校五、六年生十六人を前に、空襲の悲惨な出来事を語りました。細岡さんは、「空襲は一時間近く続き、爆弾が落ちると地響きがし、土が舞い上がった。この空爆で、市街地は焼け野原になり、兄の一男さん当時十六歳と恩師の教頭先生を亡くした」と当時を思い出しながら話しました。

戦争は悲しみだけじゃ生まない。日本も中国などでは、加害者になった歴史がある。今の若者には、「戦争をしない方法を選び、これからの日本を支えてほしい」と訴えました。子供たちは、当時は思い浮かべながら真剣な表情で聞き入っていました。



期間中、町内小中学校、高校の児童、生徒が資料館を訪れ、空襲を受けた本別町の歴史と戦争の悲惨さ、平和の尊さを学びました



本別町戦没者・戦災死没者追悼式

平和への誓い新たに

7月15日



戦争による犠牲者の方々のめい福を祈り、恒久平和を願う「本別町戦没者・戦災死没者追悼式」が七月十五日午前十時から、遺族、来賓など約六十人が参列し、向陽町のふれあい交流館でしめやかに執り行われました。本町では、日清・日露・第二次世界大戦の戦没で二百九十九人が、終戦直前の昭和二十年七月十五日には、米軍機による本別空襲で四十人が犠牲になりました。追悼式は午前十時に始まり、前町民に黙とうを呼びかけたサイレンが吹鳴され、参加者全員で黙とうを捧げました。高橋正夫町長が「戦後六十有余年が経過し、時の流れは悲惨な戦争の記憶を風化させ、平和の尊ささえも忘れさせようとしています。現在もお、武力による紛争が続くなか、今こそ真剣に恒久平和の実現に努めるとき。あの悲惨な歴史を繰り返さぬよう、町民とともに決意を新たにすることが今に生きる私たちに課せられた責務であり、最上の務めです」と式辞を述べ、笠原求町議会議長、糸田達一町社会福祉協議会会長、山田道雄遺族会会長らが追悼の言葉を贈りました。続いて、参加者全員が献花を行い、犠牲者のめい福を祈り、平和への誓いを新たにしました。



参列者全員による黙とう

ほんべつ寄席が七月十二日中央公民館大ホールで開催されました。笑点でおなじみの三遊亭小遊三師匠をはじめ切り絵師の柳家松太郎さん、落語家の桂夏丸さん、そして面白いコン

ビすびっぴの四組が、会場に訪れた約四〇〇人の観客を笑いの渦に巻き込みました。本別に縁のあるすびっぴは、振り込め詐欺防止をネタにテンポのいい漫才を披露。桂夏丸さんの落語のあと、柳家松太郎さんの切り絵寄席では、楽しいお話とともに会場から

リクエストされた作品を数々完成させ、来場した人たちにプレゼントしました。寄席のトリは、三遊亭小遊三さん。笑点メンバーをネタに話が膨らみ、日ごろテレビで見ている人たちの話題や自分が断酒しようとしたときの友人とのやりとりなどを楽しくおもしろく話し、会場の中は笑いに包まれました。

ほんべつ寄席 入



笑点メンバーの話で会場をわかせた三遊亭小遊三師匠



たくさんの切り絵を披露した柳家松太郎師匠



本別にゆかりのあるすびっぴの石山さん(左)と福井さん(右)



落語寄席のスタートを切った桂夏丸さん



焼くのが追いつかないほど大人気！焼鳥コーナー



雨もあがりたくさんの人でのぎわいました



軽快な踊りを見せた義経爛漫

第十七回スターフェスティバル(実行委員会主催)が七月十八日、銀河通り歩行者天国で開催されました。

スターフェスティバル 2009

少し肌寒い日ではありましたが、心配された雨も実行委員の熱意が届いたのか、夕方から最後のビンゴ抽選会の間小休止。立ち並ぶ屋台には生ビールなどを買い求めるお客さんが徐々に増え、一番人気の焼き鳥には

長蛇の列をつくっていました。傘を片手に会場を訪れた、家族連れなど多くのお客さんは、食事をしながら歌謡ショーやビンゴ抽選会で楽しいひとときを過ごしました。

国民年金

あなたも年金を増やしませんか？

その88

20歳から60歳まで40年間保険料を納めた人が、65歳から受け取る老齢基礎年金は月額で79万2100円(平成21年度額)です。

老齢基礎年金に上乗せして年金額を充実させるには、「付加年金」「国民年金基金」「確定拠出年金(個人型)」などの制度があり、将来、老齢基礎年金に上乗せして受け取ることができます。

これらの制度に加入すると、納めた保険料や掛け金は全額所得控除となり、所得税や住民税が軽減されるといふメリットもあります。ちよつと増やせる

①付加年金

国民年金第1号被保険者が、国民年金保険料に付加保険料を上乗せして納める制度。ただし、保険料免除を受けていないなどの加入条件があります。
☆納める付加保険料(月額) 400円

☆受け取る付加年金額(年額) 200円×納付月数

受給開始後2年で元が取れるよ

②国民年金基金

国民年金第1号被保険者が、受け取りたい年金額などに応じて、口数と「地域型」「職能型」のいずれかの給付型を選択して、掛け金を納める制度。

③確定拠出年金(個人型)

掛け金が個人ごとに明確に区分され、掛け金とその運用収益との合計額をもとに年金給付額が決定される制度。自己責任で運用商品を選び運用するのが特徴。
※②、③の運営は社会保険庁ではありません

申し込みおよびお問い合わせ先

付加年金

役場住民課戸籍年金担当

☎ 22-18128

帯広社会保険事務所

☎ 0155-12518113

(国民年金課直通)

国民年金基金・確定拠出年金

北海道国民年金基金

フリーダイヤル

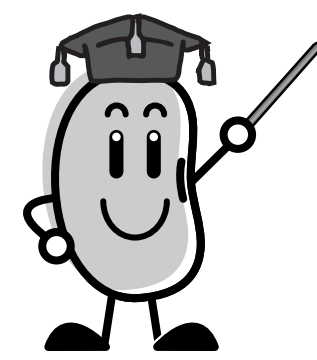
☎ 0120-16514192

詳しくは 住民課戸籍年金担当へ

☎ 22-18128(課直通)

六月に帯広市で十勝管内初、七月には幕別町で二人の新型インフルエンザの感染者が確認されました。北海道内の患者数は七月二十三日現在で二二八人となり、七月に入ってからには全国的にも急増しています。

気温が低くなる秋冬に向けて国内での患者数の大幅な増加が予想されることから、今後ともせきエチケットや手洗い、うがいなどの予防対策を励行し、旅行や外出には十分に気をつけて行動しましょう。



北海道内の新型インフルエンザ患者の発生状況

(平成21年6月11日～7月23日の発生者128人)

1. 患者居住地別発生数				2. 年齢別発生数	
患者居住地	累積人数	患者居住地	累積人数	年代	累積人数
札幌市保健所管内	54人	江別市	3人	幼児	16人
旭川市保健所管内	27人	恵庭市	6人	小学生	29人
上川保健所管内	11人	石狩市	2人	中学生	6人
帯広保健所管内	3人	砂川市	1人	高校生	8人
室蘭保健所管内	2人	月形町	2人	10歳代	13人
渡島保健所管内	1人	七飯町	1人	20歳代	32人
苫小牧保健所管内	1人	北見市	1人	30歳代	16人
千歳保健所管内	4人	計	128人	40歳代	1人
道外からの旅行者等	5人	※北海道では、7月14日より市町村名を公表しています		50歳代	4人
国外からの旅行者等	4人			60歳代	2人
				70歳代	1人
				計	128人

(資料：十勝保健福祉事務所ホームページ)

日ごろから気をつけていますか？ せきエチケットを守りましょう！

- ▷せきが続けている間はマスクをしましょう
- ▷せきをするときは顔をほかの人に向けず、できれば1メートル以上離れましょう
- ▷マスクが無く、せきやくしゃみをするときは、ティッシュなどで口と鼻を覆いましょう
- ▷使ったティッシュはビニール袋などに入れてゴミ箱に捨てましょう

手をこまめに洗いましょう！

- ▷特にせき、くしゃみをした後には手を洗うことを心掛けましょう
- ▷せっけんと水道水で、丁寧に洗いましょう
- ▷水が使えない場所では、アルコール手指消毒剤も効果的です



急な発熱とせきまたはのどの痛みがあり、「**新型インフルエンザ**かもしれない？」と思った人は？

帯広保健所内の発熱相談センターに電話をかけ、どこの医療機関を受診すればよいか相談しましょう。また、呼吸が苦しい、意識がもうろうとしているなど症状が重い人で、救急車の要請が必要なきも、まず発熱相談センターにお問い合わせください。

発熱相談センター（帯広保健所内）
 ☎0155-27-8637 / ☎0155-21-6399
 （平日の午前8時45分から午後5時30分）
 ☎0155-26-9005 （平日の午後5時30分以降）



家族や同僚が新型インフルエンザと診断され、「**私も感染しているかもしれない？**」。発症予防の薬を飲んだり、外出を自粛しなければいけませんか？

持病がない場合

ぜんそくや糖尿病、腎機能障がいなどの持病がある人や、妊婦・幼児・高齢者で、重症化の危険性が高いと思われる人

医師の診断により発症を予防する薬が処方される場合があります。できるだけ外出を自粛し一週間ほど様子を見て、その間に発熱とせき、のどの痛みなどが出たら、かかりつけ医に相談しましょう。

発症を予防する薬を内服する必要はありません。一週間程度して発症がなければ大丈夫です。その間に発熱とせきやのどの痛みなどの症状が出たらまず医療機関に電話し、受診が必要かどうかを相談しましょう。

詳しい情報は本別町公式ホームページをご覧ください
<http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/>

インフルエンザに関するお問い合わせ・ご相談は健康管理センターへ ☎22-2219

相田みつを美術館館長 相田一人講演会を開催します

相田みつをの長男で、東京にある相田みつを美術館館長の相田一人さんをお迎えし、次の通り講演会を開催します。相田みつをの作品を通して、苦難の多かった人生や作品に込められた思いをじっくりと聴ける絶好の機会です。

いのち、子育て、人生について見つめ直す機会にするとともに、多くの感動と勇気を持ち帰っていただけることを願っています。

多くの皆様のご来場をお待ちしております。

と き **9月15日(火) 午後6時30分～**

ところ **町体育館中競技室**

演 題 「相田みつを 子どもへのまなざし」

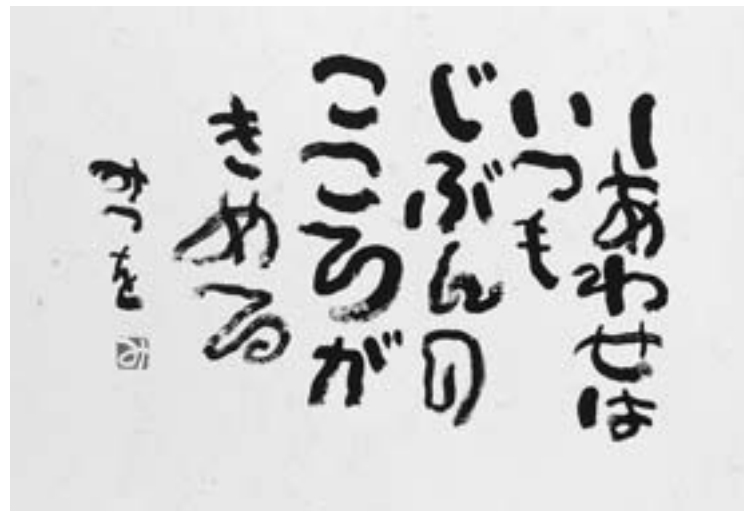
講 師 相田みつを美術館館長 相田一人氏

入場料 無 料

その他 託児所を設けています



相田一人【あいだかずひと】プロフィール
1955年 栃木県足利市で相田みつをの長男として生まれる
1996年 東京銀座に相田みつを美術館を開館
2003年 東京国際フォーラムに新美術館をオープン
【著書】「父 相田みつを」「書 相田みつを」(文化出版局)



普段、無意識に触れている相田みつをの作品ですが、一度見ると目に焼きつく書体であり、口にすると自然に心に残る言葉。それが相田みつをの作品の大きな特徴です。
若いころから一貫して独特の書体と言葉で作品を発表してきましたが、世に知られるのは以外に遅いものでした。

ギャラリートークのご案内

相田みつを展オープン初日に、展示作品の解説をいたします。

と き **9月16日(水) 午前11時～**

ところ **中央公民館大ホール**

解説者 相田みつを美術館館長 相田一人氏

お問い合わせ

中央公民館内文化振興担当 ☎ 22-5111

ほんべつ学びの日 光風事業

子どもが明るく心豊かに成長できるように、
そして大人も心から元気になることを願って

心に響く書との出会い 「相田みつを展」

9月16日(水)～10月4日(日)

午前9時～午後5時(入館は午後4時まで)

※土・日曜日、祝日は午後8時(入館は午後7時まで)

中央公民館大ホール

- 主 催 本別町・本別町教育委員会
- 共 催 本別町芸術文化事業振興会
- 後 援 本別町文化協会・北海道新聞社本別支局・十勝毎日新聞社本別支局
- 協 力 HTB北海道テレビ・テレビ朝日・みつをボランティアトマトの会
- 特別協力 相田みつを美術館

本展覧会では、相田みつをの初期作品から晩年の絶筆まで、初公開作品のほか、筆・墨などの愛用品を展示いたしますので、この機会にじっくりとご鑑賞ください。

- 入館料
- 〈一般〉前売り 500円
(期間中は600円)
 - 〈高校生〉前売り 250円
(期間中は300円)
 - 〈フリー〉1000円
(期間中は何度でも入場可)
 - 〈幼児、小中学生および学校の授業での入館〉無料
 - ※団体割引(10人以上)
一般 500円/1人
高校生 250円/1人
- チケット販売所
中央公民館、町体育館、町図書館、役場勇足・仙美里出張所、本別町芸術文化事業振興会各理事宅、藤丸チケットぴあ、かちまいサロン、十勝管内各市町村教育委員会窓口

子どもから大人まで多くの幅広い年代の皆さんが、相田みつをの作品を見て、読んで、さらに相田一人氏の講演を聴いて、感じることで勇気や希望を持ち、そして心から元気になって欲しいと願っています。
この機会に改めて家庭・学校・地域が一体となって、地域の宝である子供たちを育むことの大切さや私たち大人の学びの必要性を、やさしいことばを通して感じてください。

HELLO 仙美里小学校

“子どもと豊かに関わりながら、一人ひとりの子どもを大切に
した教育活動を推進しよう！”を本年度の重点に掲げ、4月、7
人の新1年生を新たに迎え入れ、仙美里小丸は船出しました。

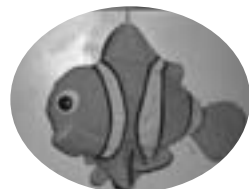
本別町教育研究大会（会場校）を9月に控え、「伝え合う力を
高める」授業作りをめざし、教職員14人と全校児童40人の乗組員
は、夢と希望の実現に向けて、今日もがんばって航海を続けてい
ます。どうぞ応援してください。



健康キャラバン



急ぎよ体育館で実施した運動会



子どもも教師も輝く 活力ある学校

確かな
学びの
追求

豊かな
ふれ合い
の追求

安心・
信頼の
追求



前期児童会長



新しくなったパソコン室



春の遠足

私たちの小学校は4・5・6年でがんばっ
ている4つの専門委員会があり、リサイクル
フェア・読み聞かせ・保体げきなど、楽しい
イベントがたくさんあります。児童会では、
リングプル・ペットボトルキャップなどをた
くさん集めて、人々の役に立てようがんで
います。私達の小学校は全校児童40人の小
さな学校ですが、笑顔で輝いている学校です。

前期児童会長 6年 内田 芽依



農園活動



読み聞かせ

特色ある教育活動

「総合的な学習の時間」を核とした地域連携教育の充実

- J A 農業体験学習や農大移動学習
- 福祉施設への慰問
- 歴史民族資料館の積極的活用

学びの連続性を意図した幼・小・中との連携教育

- 交通安全キャンペーンの合同実施
- 小中合同運動会の開催
- 校内授業研の交流

郷土芸能の継承

- 義経太鼓保存会、駒踊り少年団への積極参加



授業参観日



陽だまりの里 訪問



1年 校内授業研

第6次本別町総合計画策定に 向けた基本的な考え方

☆ 構成

総合計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」
で構成します。

①基本構想

平成23年を基準年次として10年間の長期的視野
で、本町が目指す将来発展する方向を示すとも
に、それを達成するための施策の大綱を定めます。

②基本計画

基本構想で定めた施策の大綱を具体化するため、
各分野ごとの施策、事業について現状と課題を明
らかにし、まちづくり推進のための方策を体系的
に定めます。計画は前期（平成23年度～27年度）
と後期（平成28年度～32年度）の5か年度に分け
て策定します。

③実施計画

基本計画で定めた施策の主要事業について、事
業の熟度や緊急性、財政状況や国、北海道などの
施策の動向を見極めながら毎年向こう3年間の計
画策定し、各事業の実施年度、事業内容、事業量
を示します。

☆ 目標年次・計画期間

平成23年度から平成32年度までの10年間とします。
ただし、計画期間内に社会情勢等の変動により、策
定時の見通しと著しい差異が生じた場合は、必要に
応じて計画の修正や見直しを行います。

☆ 策定のポイント

- ①町民皆さんの参画
- ②全町職員の参画
- ③計画書の構成
 - (1)目的・目標の設定、遂行
 - (2)施策・事業の体系化
 - (3)実行性ある計画策定
 - (4)評価の仕組みの確立
- ④各種計画との整合



左：現在の第5次総合計画書
右：現在の第5次総合計画後期基本計画書

☆ 町議会への対応

策定の過程において、適宜、町議会に進捗状況を
報告し、平成22年9月議会において、基本構想案を
提案し議決を得よう計画を策定します。

☆ 現総合計画の総括

現行の本別町総合計画基本構想および基本計画に
記述されている内容の達成状況を確認、把握し第6
次総合計画策定の基礎資料として活用します。

総合計画についての問い合わせ

企画振興課 企画・生涯学習担当

☎22-8121（課直通）

第6次本別町総合計画

Part3

第6次本別町総合計画策定審議会委員名簿

職	氏名	所 属
会 長	今 野 公 司	一 般 公 募
職務代理	三 枝 金 作	自 治 会 連 合 会
委 員	飯 居 孝 人	一 般 公 募
"	内 田 勇 介	"
"	岡 田 清 信	"
"	小 川 繁 子	"
"	水 元 博 宣	"
"	沼 田 久 枝	歓び実感プラン21推進協議会
"	田 原 美 枝	市 街 地 婦 人 会
"	新 津 直 子	本別町商工会女性部
"	田 西 昭 子	少子化対策推進協議会
"	矢 部 志 保 子	本別消費者協会
"	内 田 基 一	J A 本 別 町
"	朝 日 基 光	本 別 町 商 工 会
"	中 前 孝 二	建 設 業 協 会
"	久 能 利 幸	観 光 協 会
"	山 田 悦 啓	北海道立農業大学校
"	鎌 田 一 平	本別町老人クラブ連合会
"	新 津 和 也	チャレンジ・ネットワークほんべつ
"	及 川 哲 夫	本 別 町 体 育 協 会
"	太 田 昭 弘	町内小・中学校校長会
"	今 野 雅 徳	J A 本 別 町 青 年 部
"	菅 原 道 正	本 別 町 文 化 協 会
"	中 村 秀 喜	連合北海道本別地区連合
"	古 田 二 郎	社 会 福 祉 協 議 会
"	選 考 中	本別町健康長寿のまちづくり会議
"	選 考 中	子ども育はくむ環境づくり推進会議

第41回 札幌本別会総会 6/21



第41回札幌本別会（相澤裕会長）総会が6月21日、札幌市内のホテルで開催されました。相澤会長が「新体制となった役員で今後も親睦を深めていきたい」、また、来賓として訪れた高橋正夫町長は本別町の近況を報告し、「ふるさととは本別町ですと皆さんが胸を張れるまちづくりを進めます」とあいさつ。幅広い世代の会員ら43人は近況を語り合い話に花を咲かせ、ビンゴゲームで相互の親睦を深めていました。最後に全員で「故郷」を合唱し、再会を誓い合いました。

町長杯争奪高齢者ゲートボール大会 6/23

第28回町長杯争奪高齢者ゲートボール大会（本別町主催、本別ゲートボール協会主管）が6月23日、ふれあい多目的アリーナ（銀河アリーナ）で開催されました。9チーム47人が参加し、3ブロックでの予選リーグのあと各ブロックを1位で通過した3チームが優勝を目指して熱戦を繰り広げました。成績は次の通りです。

優勝＝スミレ
準優勝＝カトレア
3位＝星流



今度はカレーを試食してみたい 6/26

毎月1回実施されている南4丁目在宅福祉ネットワーク（菅野正義会長）定例会が6月26日、世代交流館で開催されました。今回は、学校給食共同調理場の協力により会員が要望していた「給食試食会」が実現。参加した33人は、焼きそば、牛乳、マンゴーミルクデザートなどの3品を試食し、「美味しい、今度は子供たちに一番人気のカレーを試食してみたい」と感想を口にしていました。



子供たちに美化の心を 6/27

勇足元町子供会（篠原聖法会長）が6月27日、同自治会街路のごみ拾いと勇足地区公民館の窓ふきを実施しました。この取り組みは、子供たちに美化の心を持ってもらうことを目的に毎年ボランティアで行われているもので、参加した幼児から小学生までの子供たちや父母、育成会役員ら24人は、空き缶やペットボトルなどのごみ拾いをした後、同地区公民館に移動し窓ふきに汗を流しました。



自慢のサイクリング車で 6/28

第45回十勝サイクリング本別大会（本別サイクリング協会など主管）が6月28日、本別町で開催されました。本別警察署と連携して行われた今年の大会には、小学5年生から77歳までの管内サイクリング愛好家55人が、自慢のサイクリング車で参加。振り込め詐欺などの防犯啓発のパレードを2区間で実施しながら、町内40kmのコースを爽やかな風を切りながらゴールを目指しました。



第12回 本別町民ゴルフ大会 6/28

第12回本別町民ゴルフ大会（岡崎勉実行委員長）が6月28日、アリスト本別ゴルフクラブで開催されました。参加した89人は、青空の下自慢の腕を競い合い、爽やかな汗を流し交流を深めていました。例年同様チャリティホールも設けられ、集まった募金は町スポーツ振興基金に寄付されました。成績は次の通りです。優勝＝小川末男さん 準優勝＝山城忠雄さん 3位＝牧田作二さん
ベストグロス 男性＝賀陽真哉さん（77打）
女性＝荒木富士子さん（82打）



ピンチをチャンスに 6/29

十勝東北部銀河の里づくり協議会（会長：高橋正夫町長）の協力を得た本別町商店街まちづくり委員会（岡崎勉委員長）研修会が6月29日、本別町商工会で開催されました。「元気のでる・おかみさんの経済学」をテーマに、東京浅草復興の立役者である富永照子氏（NPO法人全国商店街おかみさん会理事長）が講演。富永氏は「ピンチをチャンスに変えるためには、休まず努力すること。行動を起こし、人脈を作ること。勇気・やる気・元気を出しリスクを背負うこと」が大切であると経営のノウハウを話すとともに、町全体を元気にするために本別町産で付加価値の高い「豆」を町おこしにつなげてほしいと結びました。出席した委員ら約60人は、自身の苦労話などを交えたユーモアたっぷりの話しに真剣に耳を傾けていました。



いざというときのために… 7/1

いざというときの被害に備えて本別消防署水防訓練指導会が7月1日、河川敷芝生広場堤防で行われました。水防専門家の星喜友氏を講師に招き、基礎的な土の作りやなわの結び方、水の流れを緩やかにする木流し工法などを学びました。参加した本別消防団員をはじめ、本別、足寄、陸別、浦幌消防署員、町職員ら約70人はこの訓練によっていろいろな技法を習得し、実践に生かせるようにと真剣に取り組んでいました。



社会を明るくする運動 7/1

第59回社会を明るくする運動強化月間の7月に合わせ、本別町実施委員会（実施委員長＝高橋正夫町長、35団体）の定期総会が7月1日中央公民館で開かれ、44人が出席し今年度の事業などを決めました。総会終了後には、参加者が運動の趣旨普及のため、銀河通りや国道242号線沿道の街頭で、うちわやウエットティッシュを配布しながら「犯罪や非行のない明るい社会を」と呼び掛けました。



安全運転を訴えました 7/2・17

本別町商工会女性部（小川睦子部長）部員10人が7月2日に、本別町老人クラブ連合会（鎌田一平会長）会員約40人が「夏の交通安全運動」初日の7月17日に、北8丁目ふれあい公園で交通安全キャンペーンを実施しました。両団体は、交通安全を呼び掛けるチラシとお茶100セットを、道行くドライバーに手渡ししながら「スピードダウンをお願いします」などと声を掛け安全運転を訴えました。



情報を広報電算担当へお寄せください ☎22-8121（課直通）

大変きれいになりました 75



7月5日富士工業株式会社（岡田清治社長）が、地域貢献活動の一環として本別中央小学校生徒玄関に設置されているスロープの塗装を行いました。職員7人が、スロープのさびを丁寧に落とし、きれいに色を塗り替える作業に汗を流し大変きれいになりました。8月上旬には、校門付近のアスファルト補修も行われる予定です。

パパと一緒に！ 75

お父さんと子供たちが一緒にのんびりと遊んでもらおうと日曜日に施設を開放する「パパとあそぼうの日」が7月5日、子育て支援センターで開催されました。



6組14人の親子が参加し、おもちゃや滑り台などを使いながら子供との時間を楽しんでいました。

農大祭 75



第36回農大祭（太田徳幸実行委員長）が7月5日、北海道立農業大学校（樋口廣作校長）キャンパスで開かれました。今年は「トントンストン農大祭～空前絶後のダイナマイトday!～」をテーマに、町内外107の企業や商店が協賛。「農大祭を通じて農大と地域の関係がより親しく、地域との架け橋となれば」とたくさんの催しが行われました。農大で作っているアイスクリームや焼き鳥、焼きそばなどの模擬店も昨年より数を増やし、多くのお客さんを出迎え、今年も大盛況となったチーズやパン、農大和牛は昼過ぎに完売。天候にも恵まれ、たくさんの人たちが訪れ盛りだくさんのイベントを楽しみながら、心もお腹も満腹にしていました。

親子でなかよく水遊び 76

家庭支援・教育事業「なかよし」による「陸別と本別のママさん交流会」が7月6日、利別川河川敷噴水広場で20組39人の親子が参加し開催されました。好天にも恵まれ、子供たちは噴水広場でずぶ濡れになりながらおはしゃぎ。お昼には同広場で持参したお弁当を囲みながらお母さん同士が子育て話に花を咲かせるなど、楽しいひとときを過ごしました。



青年海外協力隊に参加を 79

青年海外協力隊経験者などを中心に組織された社団法人青年海外協力協会（JOCO）が7月9日、協力隊への参加促進活動のため役場を訪れました。独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施する同事業の参加者減少に歯止めをかけるため、昨年3月にスタートしたこの活動は、今年10月まで全国で展開され、全ての市町村と関係機関を訪問する予定。道内は6月下旬から7月に実施され、訪れた3人は「1人でも多くの人に協力をお願いしたい」と話していました。

訪れた1人の高橋久美子さんは、平成14年度に本別中央小学校に勤務した経験があり、当時担当していた生徒は現在高校1年生になっていると懐かしそうに話していました。



みんなの健康 300

小児に多い扁桃炎ですが、大人でも扁桃腺が強く腫れる人もいます。扁桃腺炎になると高熱が出てのどが腫れて痛みを伴います。炎症が強いと腫れと痛みに加えて口が開きにくくなり食事ができなくなる場合もあります。習慣性の扁桃炎の人は、疲れたり風邪をひいたときに扁桃腺が腫れ、年に三回以上、学校や仕事を休む必要があるような場合、また扁桃腺が頻繁に炎症を起して心臓や腎臓に負担をかけている場合は扁桃腺をとる手術をします。ほかにも手術が勧められるケースとして、扁桃腺が肥大したことにより、睡眠時無呼吸症候群になつた場合です。扁桃腺の手術は、全身麻酔をかけて一時間ほどで終わります。手術後の回復のために一週間ほどの入院が必要です。手術は炎症が起きている最中に行うことができません。炎症のない時期に体調を整えて手術に望みます。



本別町国民健康保険病院
副院長 郡山智也

銀河ホップアップ

—足寄町・陸別町から—

足寄町

足寄ふるさとまつり

足寄ふるさとまつりでは、盆踊りや花火大会などさまざまな催し物で皆さんをお迎えします。ぜひご来場ください。

□とき 8月15日(土)

□ところ 町民センター前駐車場 および利別川河川敷

□内容 10時00分 文化芸能発表
11時30分 ステーション
13時00分 子どもフェスティバル
子ども縁日
カマス挙げ大会
ステージショー
もちまき
子ども盆踊り
西国花火大会
仮装盆踊り
お楽しみ抽選会



□詳細 足寄町役場経済課商工観光振興室
☎2512141 内線250

陸別町

陸別町ふるさと劇場

「林家正蔵」落語会

りくべつ寄席

□とき 9月13日(日)

□開場 午後2時
□開演 午後2時30分

□ところ 陸別町タウンホール



□料金 前売り券(当日)
一般 2000円(2300円)
高校生 1000円(1200円)
小中学生 500円(600円)
※未就学児の入場は、「ご遠慮ください」

□前売り券のお求め 陸別町教育委員会、陸別町公民館、JAりくべつ、陸別町観光物産館、陸別町商工会、アイトサロンカンピー、陸別町ふるさと劇場会員まで

□問い合わせ 陸別町教育委員会
☎2712123

忘れていませんか? 定額給付金申請 申請期限は 9月24日までです

国が景気後退にともなう、国民への生活支援を行い、地域の経済活性化につなげることを目的とした、定額給付金の申請開始から約三か月が経過し、七月十五日現在で三八二四世帯、97%の申請が終了しました。しかしながら、まだ一九世帯が申請をされていません。申請期限が過ぎると、給付金受給を辞退したとみなされ、給付金を受けることができなくなります。申請がお済でない人はお早めに申請をお願いします。また、申請書がお手元に届いていない人は、定額給付金窓口までお問い合わせください。

定額給付金詐欺にご注意ください!!

市町村や総務省などの職員が、『給付のための手数料などを求めたり』『ATM（現金自動預払機）の操作をお願いしたりすること』は絶対ありません。

不審な電話、郵便、訪問があった場合は、企画振興課定額給付金担当（☎22-2141）か緊急時は警察署（☎110）、または警察相談電話（☎#9110）へご連絡ください。

問い合わせ
企画振興課定額給付金担当
☎22-2141

未来に輝く子どもたち


本別町の未来を担うかわいい星たちです。お父さん、お母さんのたくさんの愛に包まれて、すくすく元気に育つてね!



勇足東三区
倉崎 笑歌 (真知子ママ)

※写真は本人に了解を得た上で掲載しています

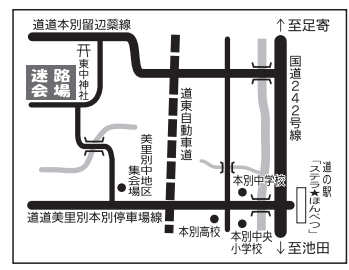
ラリー北海道



今年、日本で唯一開催される国際規格ラリーFIAアジア・パシフィックラリー選手権第4戦/JAF全日本選手権第5戦「ラリー北海道」が7月12日、帯広市を中心とした十勝を舞台に開催されました。本別では12日に、活込・美蘭別間の林道10.78kmのコースを5か国から出場した59台のラリーカーが、爆音を響かせながら走り抜けました。今回のラリー北海道を成功させるため、本別ラリージャパンを成功させる会（野田仁会長）も、看板設置などの協力を行いました。

ひまわりの咲く迷路をお楽しみください 本別ひまわり3000坪迷路

とき 8月8日(土)～12日(水)
開場：午前9時～午後5時
会場：美里別東中(前田文男さん宅ほ場)
入場料：無料
※8月8日(土)午前10時から開会式を行います



昨年ひまわり迷路の様子

たくさんのイベントで皆様のお越しをお待ちしています

- ☆ポニー乗馬・馬車コーナー 料金 大人200円 子供100円
- ☆トラクター幌馬車
- ☆農機具、馬具、骨董品展示コーナー 昔なつかし品の展示コーナーを設置しました
- ☆ひまわりハウス 農機具コーナーの2階は無料で宿泊いただけるひまわりハウスとして開放いたします(50人程度宿泊可)
- ☆動物ふれあいコーナー ウサギなどのたくさんの小動物が待っています
- ☆お食事できる売店コーナーも設置 手打ちそば・やきそば・カレーなどのお食事や、農産物販売コーナーもあります

※天候により長靴の持参をお願いします
※ムシさされに十分ご注意ください

お問い合わせ先
本別ひまわり愛好会
代表 背戸田利光(携帯090-3891-4633)

ご寄付ありがとうございます

平成21年6月29日から7月17日

次の通りご寄付をいただきました。紙上をかりて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

- ★本別町スポーツ振興基金指定 金87,021円…第12回本別町民ゴルフ大会実行委員会 実行委員長 岡崎 勉
- ★美里別保育所指定 牛乳贈答券 10,000円分 ……拓農酪農振興会 会長 梅津 洋一
- 個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付
- ★日本一の豆を生かした農産物加工体験施設整備事業 金10,000円 ……東京都 陶久 悦子
- ★福祉でまちづくり推進事業 金10,000円 ……室蘭市 中村 英俊

広報ほんべつ 第970号

平成21年8月1日発行
印刷/本別印刷株式会社

本のある暮らし

101

赤ちゃんへ ことばのおくりもの

図書館ファースト・ブック事業 おすすめ絵本

お誕生

6月後半から
7月前半の
届出分

大道由誠^{ゆうせい}くん 賀^か香^かさん 6/23 向陽町
栗林花歩^{かほ}ちゃん 泰^{たい}之^の子^こさん 6/29 柳町

ご結婚

(西 邑 大 史^{さい}さん 美里別西上
村 上 喜世子^{きよこ}さん 大阪府

おくやみ

高橋ヨシエ^{よしえ}さん 84歳 6/16 栄町
渡部 升^{のぶ}さん 64歳 6/22 向陽町
菅野フジエ^{ふじえ}さん 91歳 6/25 北7丁目
澤井桃子^{ももこ}さん 68歳 6/27 向陽町
薩田清松^{しよん}さん 89歳 6/27 奥仙美里
石井美恵子^{みづこ}さん 75歳 6/27 南2丁目
荒城忠雄^{ただお}さん 67歳 6/30 南3丁目
小澤松雄^{しょうお}さん 99歳 7/1 栄町
平 芳一^{よし}さん 82歳 7/1 柏木町
稲守 博^{ひろ}さん 59歳 7/2 栄町
菅原芳子^{よし}さん 83歳 7/6 負籠2
川内 宏^{ひろ}さん 66歳 7/8 北3丁目
寺島幸男^{ゆきお}さん 76歳 7/9 錦町

おなかの赤ちゃんに、ぜひ読んであげてほしい絵本を紹介합니다。絵本を通してお母さんと赤ちゃんの「喜びのキャッチボール」ができます。



おかあさんとあかちゃんの心をむすぶ絵本
『うれしいな』
矢崎節夫/作 岡村好文/絵

「あかちゃんが うまれてきてくれてうれしいなって おもってる」。お母さんが赤ちゃんに語りかけることばが、とても美しくやさしい絵本です。

ファースト・ブック事業に参加した妊婦さんが、「この絵本をおなかの赤ちゃんに読んであげたら、喜んでよく動いたんですよ」と、話してくれました。お母さんの声をおなかの赤ちゃんが聞いて、うれしい気持ちが伝わったのでしょうか。



わらべうたえほん
『まてまてまて』
こばやしえみこ/案 ましませつこ/絵

「まてまてまて」は、ハイハイする赤ちゃんを追いかけるように、励ますようにかけることばです。お母さんがすっぽりと抱きしめて「つかまえた」と言うと、赤ちゃんはほっとして「ねんね」します。お母さんに遊んでほしい、だっこしてほしい、ねんねさせてほしい…という赤ちゃんの願いがシンプルに描かれています。

「図書館ファースト・ブック事業おすすめの本」は、このシールが目印です。ほかにもよい絵本、育児書などを選んでいきますので、ぜひご利用ください。



わたしたちのまち

前月比

人口 8,599人(-12)

男 4,239人(-4)

女 4,360人(-8)

世帯数 3,954戸(+4)

〔6月末日住民基本台帳〕

お問い合わせ先

本別町図書館

(愛称:ぶつくる一丸)

本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112

発行 本別町

編集 企画振興課
広報電算担当

住所 北海道中川郡本別町
北2丁目4番地1

電話 0156-22-8121
(直通)
FAX 0156-22-3237

ホームページ
<http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/>



資源を大切に——
広報ほんべつは、道産間伐材を使用しています。